


令和3年度 南区地域福祉計画アクションプラン地区別計画 進行管理表

- 新飯田地区 1～2
- 茨曾根地区 3～4
- 庄瀬地区 5～6
- 小林地区 7～8
- 臼井地区 9～10
- 大郷地区 11～12
- 鷲巻地区 13～14
- 根岸地区 15～16
- 大通地区 17～18
- 白根地区 19～20
- 味方地区 21～22
- 月潟地区 23～24

令和3年度はコロナ禍の影響を鑑み年度評価を以下のとおりとしております。

例年		令和3年度
評価 指 標	A	概ね90%達成
	B	概ね75%達成
	C	概ね50%達成
	D	ほとんど実施せず



81%～達成
66%～80%達成
1%～65%達成
0%

併せて、影響を受けた取り組みの年度実績には【コロナ禍の影響あり】と表示しております。

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 新飯田地区】

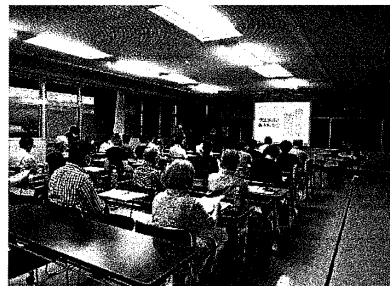
取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・新飯田自主防防災打合せ・講演会 4/22、6/17(防災) ・新飯田コミ協支え合い講演会打合せ・講演会 7/26、2/19(支え合い)※コロナの影響で延期、次年度実施予定 ・白南中学校アクションプラン取り組み 6/29、7/6、7/13、8/31、10/1(AP 全体) ・白南・白根第一圏域移動に関する検討会 10/6(支え合い) ・その他 在宅訪問活動等 	<p>・災害を体験していない世代が大半なため、緊張感や危機感がない地域である。災害時どう動くかなど、継続して防災に取り組む必要がある。</p> <p>・自動車免許を返納し、移動の手段がないため茶の間など参加することができず、気持ちがふさぎ込みがちという話がでている。</p> <p>・今後、支え合いの講演会を開催し、支え合いについてのアンケートをする予定である。支える側の意見が中心となるが、支えられる側の意見を拾っていない。</p> <p>・白南中学校の AP の取り組みをコミ協事業に反映できるとよい。</p> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p>・敬老会の代替である高齢者世帯訪問活動の中で、直接話をするのができ、世帯の状況の把握ができた。併せて水害時等の避難基準の変更も周知し、避難場所についての確認ができた。</p> <p>・地域防災講座で近くの三条で起きた災害について振り返ることができた。</p> <p>・白南中学校の AP 取り組みでは、中学生が一生懸命取り組んでいる様子を見ることができた。AP 推進員も参加し、一緒に地域について考えることができた。</p> <p>・ご近所同士でお茶のみやおすそ分け、雪かきやなど支え合いができていく地域であると感じている。</p> <p>・支えあいのしくみづくりのアンケート等検討することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・白南中学校で生徒から出してもらった取り組みについて、コミ協事業として実施を検討する。 ・災害時の取り組みは、次年度も継続して取り組む。 ・支え合いの「形をつくる」というより、地域の実態を把握していく。

新たな課題や取り組み(あれば記入)

取り組みの様子(写真)



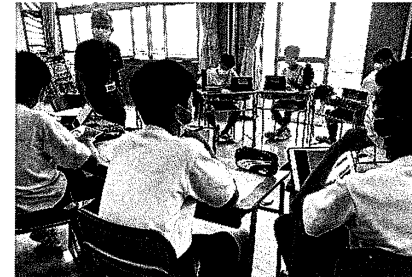
防災講座打合せ



防災講座



白南中学校アクションプラン取り組み



【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月17日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	B
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	B
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	B
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	B

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者> 敬称略</p> <p>地区社協:小林会長 コミ協:齋藤会長、関川副会長 AP 推進員:小林 センター:山崎、小杉 区社協:横山、荏原</p> <p style="text-align: right;">8名</p>
--

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 茨曾根地区】

取り組み(実績)	課題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・道潟自主防災会災害時図上訓練 4/6、6/23 (支え合い・防災) ・下茨自治会災害時の助け合いについて説明、災害時図上訓練、打合せ、訓練 4/28、7/18、10/6、10/24、12/1(支え合い・防災) ・茨曾根地区社協アクションプラン研修会・移動講座 6/19(AP 全体・支え合い) ・下茨自治会・五九朗会子どもの居場所 10/9 (支え合い、子どもを育てる) ・白南中学校アクションプラン取り組み 6/29、7/6、7/13、8/31、10/1(AP 全体) ・白南・白根第一圏域移動に関する検討会 10/6(支え合い) ・その他:在宅訪問活動、ゴミ出し支援、子ども子育て支援パンフ作成、児童タブレット講習等 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の基準を確認する必要がある。 ・避難行動要支援者の取り組みで、班長等が高齢化しているため、どう組織だてしていくか検討していく必要がある。 ・いつ起こるかわからない災害に備えて行動を起こしていくことが必要。(現名簿の取り扱いでは機能しない) ・人口が減っている。助ける人より助けてほしい人が多い。 ・コロナ禍で取り組みができず、顔のわからない人が多い。人と人がつながる地域づくりが必要である。 ・地区社協配食事業は自治会長と民生委員で事前に情報共有できるとよい。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図上訓練や防災アンケートを通じて、要支援者や世帯状況等を確認することができた。(防災備蓄の希望や避難先を知らないなど初歩的なことがわかっていない状況確認ができた) ・現名簿の取り扱いを検討することで、今後取り組む第一歩となった。 ・自主防災会で話し合いを重ね「助け合い名簿」を作成した。 ・自治会長がひとり世帯を訪問し、避難時の状況確認をした。 ・自治会として子供会に助成をして応援・支援をしている。 ・白南中学校生徒も地域の一員としてAPに取り組んだ。その子供たちの取り組みに対し、地域も関心を持つことができた。 ・防災士をとることで、前向きな取り組みにつながった。 	<p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口が減り、高齢化が進む中で、各自ができることを考えていく必要がある。(自助力向上のための取り組み) ・人と人がつながる機会の場や仕組みづくりが必要である。(集まる機会や小さな単位で顔を合わせる機会を作ることで地域を知り、顔の見える関係づくりにつながる) ・防災訓練や避難行動要支援者に対する対応等継続した取り組み。 ・様々な取り組みの際には、自治会長経験者などの巻き込みを検討。 ・R3年度に検討した自主防災の連絡網を生かした取り組みを実施。 ・防災士の育成 ・子どもたちの自己肯定感を育てるための啓発活動及び子どもたちの主体的な取り組みの支援・協働の継続

新たな課題や取り組み(あれば記入)

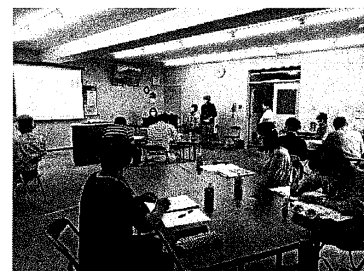
取り組みの様子(写真)



下茨自治会説明会・図上訓練



道潟自治会図上訓練



地区社協研修会・在宅訪問事業



【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和4年 1月20日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	B
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	B
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	B

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者></p> <p>地区社協役員 10名 AP 推進員 区社協(横山、渡辺1層SC) 13名</p>
--

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

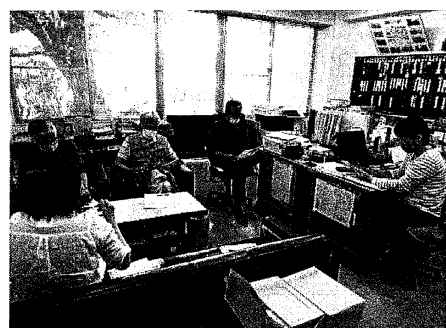
【令和3年度 庄瀬地区】

取り組み(実績)	課題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・庄瀬地区アクションプラン打合せ 6/9(AP 全体) ・白南中学校アクションプラン取り組み 6/29、7/6、7/13、8/31、10/1(AP 全体) ・白南・白根第一圏域移動に関する検討会 10/6、庄瀬地区ワーキングチーム等 10/18、11/4、11/17(支え合い) ・その他 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災については、今後要支援者の整理が課題。小学校とは訓練の協働開催等の取り組みができていますが、中学校との連携をもっと強化したい。 ・白南中学校のアクションプランの提案をどう地域と連動させるか検討する必要がある。(中学生の感性を生かす) ・庄瀬地区だけではなく、白南圏域がまとまるような交流を考えたい。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会の場では商工会が積極的に関わってくれたため、若い世代のつながりが強化された。 ・自主防災会、自治会、地元消防団と、要支援者の聞き取り調査を連携して取り組むことができた。 ・小学校、中学校でコミュニティースクールが始まったことにより、学校と地域の連携が進み、つながりが深まった。 ・中学生の取り組みが活動的で、とても良かった。 ・移動支援の課題について話合いが持たれたことは大きい。 ・コロナ禍ではあるが、工夫しながら活動ができた。 	<p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い防災づくりのため、R3 実施した聞き取り調査を基に、要支援者への支援体制を整理し、見える化する。 ・白南中学生の考えた地域づくりのアイデアを取り入れるなど中学生を巻き込んでいきたい。(将来的な地域づくりにもつながる) ・白南地域で避難所運営協議会が立ち上がることから、新飯田、茨曾根、庄瀬3地域の防災活動の連携を進める。 ・コミュニティスクールの活動を継続、強化する。 ・移動支援については、庄瀬地区にあった形で実施できるよう、生活支援も含め検討していく

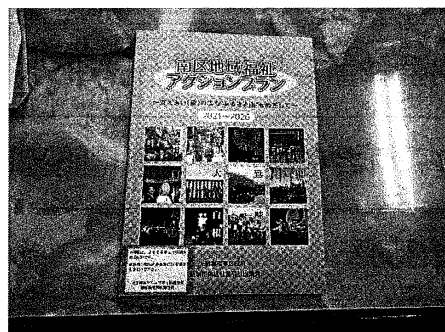
新たな課題や取り組み(あれば記入)

南区連合保健会がなくなるが、運営等の見直しや検討を行い、庄瀬地区の健康増進のための組織として残し活動を進める。子育てや若い世代を巻き込み、地域活動の見える化・情報の周知をはかる。

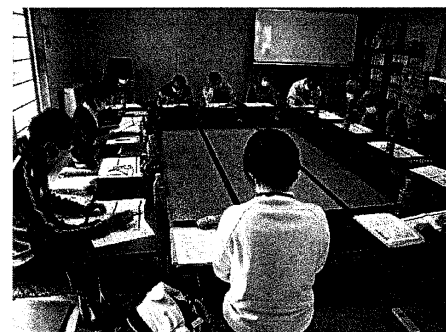
取り組みの様子(写真)



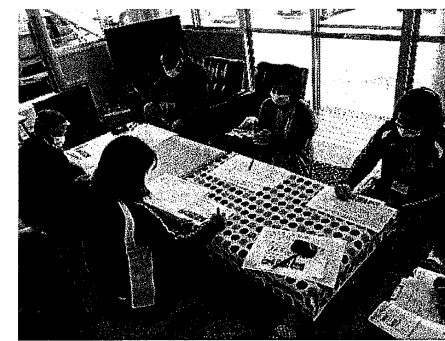
アクションプラン打合せ



冊子に引継ぎシール



移動支援打合せ



アクションプラン評価会

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月14日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者></p> <p>コミ協:田中会長 地区社協:中丸会長 アクションプラン推進員:西山 支えあいのしくみづくり推進員:吉村 南区社協:熨斗、横山、渡辺 1層 SC</p> <p style="text-align: right;">7名</p>
--

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 小林地区】

取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン打合せ 6/11(AP 全体) ・小林地区自治協アクションプラン・支え合いのしくみづくり説明会 8/10(AP 全体) ・白南・白根第一圏域移動に関する検討会 10/6、小林ワーキングチーム等 10/26、11/9、11/15、11/26、12/6、12/下旬アンケート調査 (支え合い) ・その他 在宅訪問活動 等 	<p>課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お助け隊こぼやし PR (コロナ禍もあって浸透していない) ・地域から課題が上がっていない。自治会ごとの課題をすくい上げて、その課題に対し、取り組むことが必要。 ・自治会長とコミ協等の地域団体がさらにコミュニケーションを深められるとよい。 <p>評 価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お助け隊こぼやしを中心となって行った「量ろう体重」の取り組みは、前年比 30%増であった。また、白根高校と連携して周知活動もできた。移動に関する検討は自治会長や民生委員、関係機関の協力を頂きながら、着々と進めることができている。 ・訪問活動等で様子の変化が見られた場合には、包括やケアマネジャー等につなぐことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お助け隊こぼやしの推進 (大雪や枝切り等困りごとが届くように自治会や民生委員と連携した周知を行う) ・自治会ごとの課題を拾う。(自治会長協議会の活用) ・包括、ケアマネジャー、区役所、社協、支え合いのしくみづくり推進員等の関係機関との連携。 ・障がいに対する理解の推進 (小林小学校チャレンジクラスボランティアの体制支援、検討) ※地域でできることを考えていきたい。

新たな課題や取り組み(あれば記入)

- ・小林小学校チャレンジクラスへの協力 (児童の見守り、ボランティア増の取り組み等)

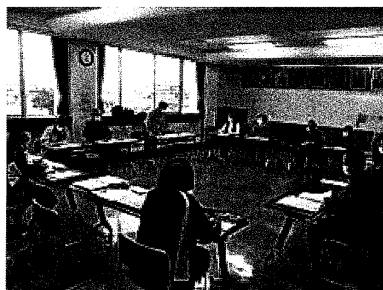
取り組みの様子(写真)



今後について打合せ



自治協への説明会



移動検討会



アクションプラン評価会議



移動アンケート調査

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月19日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	B
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	B

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>	
小林アクションプラン推進員	
南区社協 熨斗、横山	3名

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 臼井地区】

取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
・臼井コミ協役員会アクションプラン打合せ、説明 6/18、総務委員会 7/9(AP 全体) ・臼井地区自主防災会防災講座打合せ、開催 7/16、9/18、11/18(既存組織育成、連携) ・茶の間課題への取り組み 10/13 (既存事業活発化) ・その他 臼井中学校総合的な学習の時間[南区未来創造堂教室](連携)	・コロナ禍であったため、地域のまつりや行事が中止となり、地域交流が減った。 ・アクションプランについては、取り組み方を検討する必要がある。 ・アクションプランの周知を継続的する必要がある。(周知の範囲も広げていく必要)	・アクションプランを進めるにあたり、コミ協役員、自治会、自主防災、支え合い構成員等で話し合いの場を検討する。 ・アクションプラン周知の継続 ・自主防災会防災講座の継続 ・茶の間活動の推進(理解、参加の呼びかけ)
	評 価	
	・コロナ禍であったが、コミ協役員にアクションプランの説明が行え、周知できた。 ・臼井中学校では、地域における交流、つながりを目的として臼井地区の高齢者施設と交流を行うことで、人がつながる大切さを学ぶことができた。 ・防災講座を開催し、自主防の役割を確認できた。 ・自治会内では顔の見える関係づくりができています。	

新たな課題や取り組み(あれば記入)

取り組みの様子(写真)



アクションプラン打合せ



アクションプラン説明会



支えあい(茶の間)打合せ



防災出前講座

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月19日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	B
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	B

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>		
小林アクションプラン推進員		
南区社協 熨斗、横山	3名	

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 大郷地区】

取り組み(実績)	課題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・大郷地区アクションプラン打合せ 6/2、8、10/7、10/25、11/12(AP 全体、支え合い) ・大郷地区防災学習打合せ・講座開催 6/9、6/26(災害) ・見守り訪問活動体制検討 10/7(支え合い、災害) ・見守り訪問活動に関わる自治会説明会、情報交換会 ・その他 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりや支え合いなどについて、自治会長や地域住民へ趣旨説明をしていく必要がある。(地区社協事業や高齢者見守り活動など) ・防災講座を通して、災害時実際に動けるよう、大郷地区や自治会それぞれが具体的な取り組みを考えていく必要がある。併せて、小学校との連携を進めていく必要がある。 ・コロナ禍で取り組みや行動が制限された。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間は開催できなかったが、感染対策をしながら、小さな単位(隣近所)で顔のつながり、行き来が見えるようになった。 ・民生委員が行っていた見守り訪問活動(ホッカイロ配布)は、コミ協会長が調整してくれたことにより、自治会長と一緒に取り組むことができた。自治会長からは、訪問活動を通して地域の状況を知ることができたとの声を頂くことができた。福祉活動に自治会長が参加したことは支えあいの大きな一歩である。 ・行動が制限された中ではあるが、つながりを絶やさない活動として訪問活動に取り組めたことは大きかった。 ・防災講座は、体験的な話や地区の違いなど詳細な話であったため、次へつなぐ取り組みとすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り訪問活動が地域で継続して取り組めるよう、自治会と地区社協の情報交換、趣旨説明の場を設ける。地域の困りごとの相談を関係機関につながるようにする。 ・防災講座は、継続して繰り返し開催する。併せて、11月に開催される小学校避難訓練と連携したい。 ・アクションプランや支えあいのしくみづくりについて説明の機会を設ける。

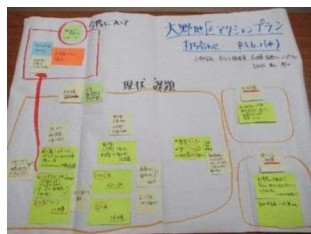
新たな課題や取り組み(あれば記入)

毎年2月自治会長会議が行われるため、社協から地域のつながりや支え合いを伝えていく。

取り組みの様子(写真)



アクションプラン打合せ



今後に向けてまとめ



防災学習打合せ



防災出前講座



見守り活動打ち合わせ

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月17日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者></p> <p>コミ協:小柳会長 長谷川アクションプラン推進員 斎藤民生委員、小池民生委員、富樫民生委員 保田主任児童委員、遠藤地区社協委員 南区社協:熨斗、横山</p> <p style="text-align: right;">9名</p>
--

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 鷺巻地区】

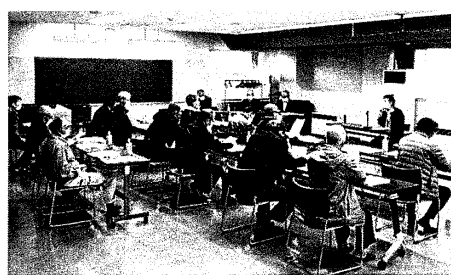
取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
・鷺巻コミ協役員会アクションプラン打合せ 5/25(AP 全体) ・民生児童委員と管轄地域の自治会長並びにコミ協役員情報交換会によるアクションプランについての説明 12/11 ・その他 ①コミュニティカフェわしのきの開催(隔月 1 回) ②映画観賞会(3月までに開催予定)	・親戚等が助けてくれる状況があるため、困りごとが地域へ上がってこない。そのため、支えあいの取り組みについて何を進めていく必要があるか見えない。 ・高齢者の知恵を生かす場づくりが必要である。	・防災訓練を継続することで、災害に強い地域づくりを進める必要がある。 ・地域の困りごとが見えない状況ではあるが、世代間交流等地域交流を継続して進めていくことは大切である。 ・コミュニティカフェわしのきは、今年度から開始し、親子を中心に参加を呼びかけたが、今後は高齢者へと広がっていくことが大切である。 ・コロナ禍で今年度できなかった講座を実施する。(認知症、移動) ・高齢者の知恵を生かす場づくりを検討する。
	評 価	
	・世代間交流、スマイルウオーク、防災訓練などは自治会等の関係機関と連携して取り組むことができた。 ・今年度から2か月に1回コミュニティカフェを開催した。多くの親子からの参加があり、地域内での交流を深めることができた。	

新たな課題や取り組み(あれば記入)

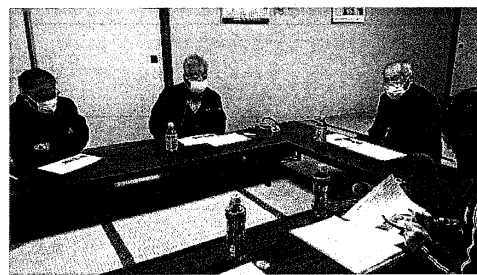
取り組みの様子(写真)



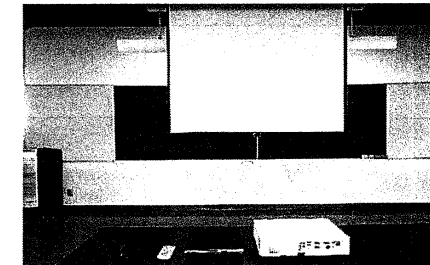
コミュニティカフェわしのきの様



情報交換会の様子



AP 打合せの様子



映画観賞会開催予定

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和3年12月17日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者> 敬称略</p> <p>コミ協: 羽貝会長 地区社協: 宮崎会長 AP 推進員: 安達 社協: 荏原、横山 5名</p>		
---	--	--

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 根岸地区】

取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン打合せ 6/24(AP 全体) ・根岸地区見守り活動状況確認 8/6(支え合い) ・根岸地区自治協議会アクションプラン・支え合いのしくみづくり説明会 8/6(AP 全体) ・根岸地域自主防災会、根岸小学校合同防災訓練 10/3(防災) ・その他 ひまわりクラブ訪問活動等 	<p style="text-align: center;">評 価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会において、高齢者の把握が難しくなっている。年度初めに名簿の確認が必要。 ・夏祭り等地域住民同士の交流が減っている。 ・地域のつながり、交流の場について検討が必要である。(コロナ禍により、ゲートボール等の交流が減っている) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会ごとに避難行動要支援者訪問活動ができた。 ・自治会で生活に必要な防災備品のアンケートをとり、自治会としての備蓄品の方向を検討できた。 ・コロナ禍ではあったが、10 地区でお茶の間会が開催され、交流できた。 ・安心箱、ホッカイロで高齢者見守り訪問ができた。今年度から、災害時に活用しやすいよう、安心箱を箱からリュックに変更した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災や見守り活動は、顔の見える関係づくりや災害に強い地域づくりの一助として継続して取り組む必要がある。 ・地域住民の大切な交流となるあやめまつり等はコロナ禍で2年間できなかったが、絶えさせないように続けていく必要がある。 ・防災備品に関わるアンケート結果を基に、計画的に備蓄品の準備をしていく必要がある。 ・根岸地区の高齢化を見据えて、小さい時からの福祉教育が大事になることから、小学校で認知症サポーター養成講座ができないか、提案する。

新たな課題や取り組み(あれば記入)

取り組みの様子(写真)



アクションプラン打合せ



自治協議会説明会



防災訓練、防災出前講座



【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 3年12月20日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者> 敬称略 コミ協: 笠原会長 自治協議会: 渋谷会長 地区社協: 高井会長 AP 推進員: 丸井 南区社協: 横山、荏原</p>	6名
---	----

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 臼井地区】

取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
・臼井コミ協役員会アクションプラン打合せ、説明 6/18、総務委員会 7/9(AP 全体) ・臼井地区自主防災会防災講座打合せ、開催 7/16、9/18、11/18(既存組織育成、連携) ・茶の間課題への取り組み 10/13 (既存事業活発化) ・その他 臼井中学校総合的な学習の時間[南区未来創造堂教室](連携)	・コロナ禍であったため、地域のまつりや行事が中止となり、地域交流が減った。 ・アクションプランについては、取り組み方を検討する必要がある。 ・アクションプランの周知を継続的する必要がある。(周知の範囲も広げていく必要)	・アクションプランを進めるにあたり、コミ協役員、自治会、自主防災、支え合い構成員等で話し合いの場を検討する。 ・アクションプラン周知の継続 ・自主防災会防災講座の継続 ・茶の間活動の推進(理解、参加の呼びかけ)
	評 価	
	・コロナ禍であったが、コミ協役員にアクションプランの説明が行え、周知できた。 ・臼井中学校では、地域における交流、つながりを目的として臼井地区の高齢者施設と交流を行うことで、人がつながる大切さを学ぶことができた。 ・防災講座を開催し、自主防の役割を確認できた。 ・自治会内では顔の見える関係づくりができています。	

新たな課題や取り組み(あれば記入)

取り組みの様子(写真)



アクションプラン打合せ



アクションプラン説明会



支えあい(茶の間)打合せ



防災出前講座

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 大通地区】

取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・大通西自治会ふれあいねっと打合せ、会議 4/21、4/26(支え合い・つながり) ・大通コミ協ボランティア講座打合せ、講座開催 4/26、6/27、11/11(住民参画・つながり・情報発信) ・アクションプラン打合せ、説明会 5/28、7/17(AP 全体) ・大通自主防防災講座 6/13、10/27、2/20(防災) ・大通コミ協徘徊ネットワーク活動打合せ 9/30(支え合い・つながり) ・その他 	<p>課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長や地域住民が包括とつながる機会が必要である。 ・徘徊ネットワークや包括を知らない人が多い。 ・高齢者の防災意識を高めることが必要。(自助力の向上) ・高齢者世帯が増加し、つながりが希薄化。 ・ボランティア人口を増やしていくことが必要。コーディネート力も大事になってくる。 <p>評 価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と自治会役員が連携をして、災害時対応を考える防災講座を開催できた。 ・ボランティア講座を開催したことによって、活動につながった人がいた。また、活動の集約、活動者同士のつながりができた。 	<p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や地域住民が包括とつながる機会を持ち、心配なケース等の声が包括に届くような地域づくりを進める。 ・徘徊ネットワークの周知。併せて、住民や関係機関と連携し、見守りのしくみづくりも進める。(小さな単位が大切) ・ボランティア講座の開催(ボランティアの敷居を低くできるような事例を用意するなど講座の内容、募集に工夫をする。) ・ちょっとボランティアの発掘 ・事業を進める際には、地域がつながる、助け合う活動を意識して進める。

新たな課題や取り組み(あれば記入)

取り組みの様子(写真)



大通西自治会情報交換会



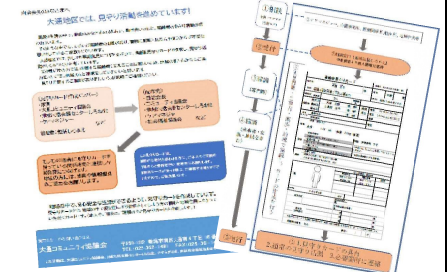
ボランティア講座打合せ



ボランティア講座



防災講座 6月



徘徊ネットチラシ作成

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 大通地区】

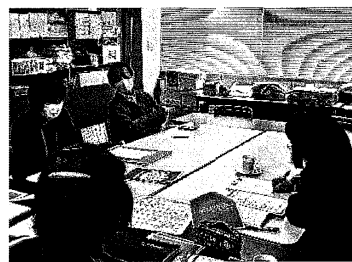
取り組み(実績)	課題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・大通西自治会ふれあいねっと打合せ、会議 4/21、4/26(支え合い・つながり) ・大通コミ協ボランティア講座打合せ、講座開催 4/26、6/27、11/11(住民参画・つながり・情報発信) ・アクションプラン打合せ、説明会 5/28、7/17(AP全体) ・大通自主防防災講座 6/13、10/27、2/20(防災) ・大通コミ協徘徊ネットワーク活動打合せ 9/30(支え合い・つながり) ・その他 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長や地域住民が包括とつながる機会が必要である。 ・徘徊ネットワークや包括を知らない人が多い。 ・高齢者の防災意識を高めることが必要。(自助力の向上) ・高齢者世帯が増加し、つながりが希薄化。 ・ボランティア人口を増やしていくことが必要。コーディネート力も大事になってくる。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と自治会役員が連携をして、災害時対応を考える防災講座を開催できた。 ・ボランティア講座を開催したことによって、活動につながった人がいた。また、活動の集約、活動者同士のつながりができた。 	<p>次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や地域住民が包括とつながる機会を持ち、心配なケース等の声が包括に届くような地域づくりを進める。 ・徘徊ネットワークの周知。併せて、住民や関係機関と連携し、見守りのしくみづくりも進める。(小さな単位が大切) ・ボランティア講座の開催(ボランティアの敷居を低くできるような事例を用意するなど講座の内容、募集に工夫をする。) ・ちょこっとボランティアの発掘 ・事業を進める際には、地域がつながる、助け合う活動を意識して進める。

新たな課題や取り組み(あれば記入)

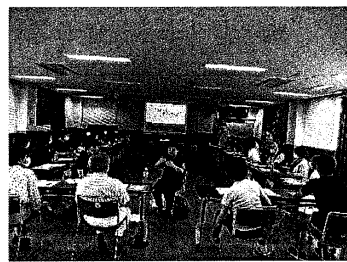
取り組みの様子(写真)



大通西自治会情報交換会



ボランティア講座打合せ



ボランティア講座



防災講座6月

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和4年1月7日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	C
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	B
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<参加者>		
コミ協:	鞠子会長	
生活センター:	棚村センター長	
自主防災会兼防災士の会:	鈴木会長	
民生委員 :	渡辺会長	
AP 推進員:	長谷川	
区社協:	横山、熨斗	7名

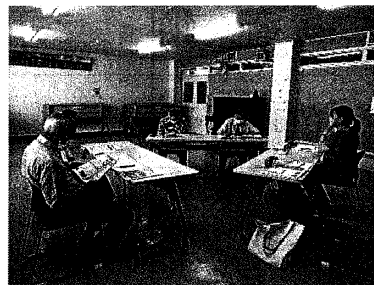
第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 白根地区】

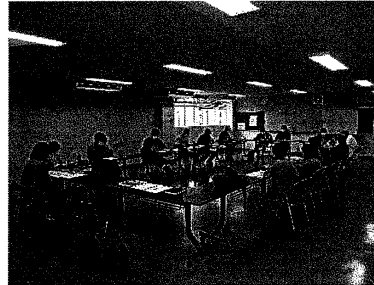
取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・白根コミ協アクションプラン打合せ、説明会6/16、北部・中部 10/12、南部 11/25(AP 全体、支え合い) ・南新町自治会生活支援立ち上げ打合せ、説明会 6/7、7/29、8/31、9/11(支え合い) ・白根地区自主防防災打合せ・講演会8/11、10/24(災害)※穂波町自主防災会はコロナにより中止 ・白南・白根第一圏域移動に関する検討会 10/6(支え合い) ・白根コミ協生活支援打合せ 12/10(支えあい) ・その他 在宅訪問活動(地区社協)等 	<p style="text-align: center;">課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援を検討する中で、総務部員と情報交換を重ねる必要がある。併せて、お互いさまにいがた白根地区登録者と話し合う場を作り、一緒に検討できるとよい。 ・生活支援(特に買い物支援)を進めるにあたり、タクシー会社と連携できるとよい。(将来的に考えていく必要) ・ボランティア(手助けする側)が少ない。 ・白根地区の課題を共有して、取り組む必要がある。 ・コロナの関係で防災講座等の参加範囲を制限した。今後は高校生など若い世代にも声をかけていく必要がある。また、実際の災害想定に合わせた講座を進める必要がある。 <p style="text-align: center;">評 価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランや支え合いのしくみづくりの勉強会を開催することで、各部ごとで統一が図れ、少しずつではあるが、生活支援についての話し合いを進めることができた。 ・コロナ禍であっても、工夫して助けあいができたため良かったと声が聞けた。 ・南新町自治会では、大雪対応について、高齢者等が困らないように話し合いを行い、事前に機材等の準備を行った。 ・南部地区の防災士が増えた。 	<p style="text-align: center;">次年度への引き継ぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの取り組みについて、年度初めに総務部会と南区社協、支え合いのしくみづくり推進員と確認していく。 ・白根地区から通っている白根高校生に防災士になっていただけるよう学校と連携していく。(予算は白根地区から捻出) ・防災の取り組みについて、内容を工夫する必要がある。(防災士の役割、自治会ごとの取り組み等) ・支えあいのしくみづくり(生活支援)の継続的な取り組み ・関係団体や助け合い登録者と内容等の検討を行い、共同で進める。

新たな課題や取り組み(あれば記入)

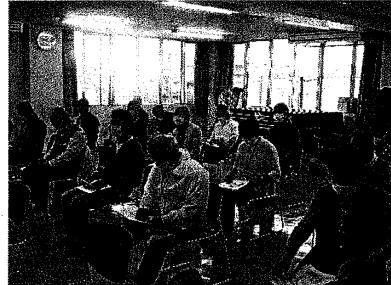
取り組みの様子(写真)



アクションプラン打合せ



南新町自治会研修会



北部・中部説明会



防災出前講座



総務部会生活支援打合

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月19日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	B
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者></p> <p>コミ協和田会長、木川副会長、武田事務局長 南部防災会星野副会長、長谷川アクションプラン推進員 南区社協(横山、熨斗) 7名</p>

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 味方地区】

取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
<p>・味方地区アクションプラン打合せ 6/21(AP全体) ・高齢者見守り活動打合せ、民協説明、配布準備 8/30、11/25 ・その他</p>	<p>・高齢者見守り活動の取り組みの中で、高齢者の施設入所の有無の情報の把握が難しく地域状況が確認できなくなっている。また、民生委員の欠員なども重なり、さらに状況把握が難しい地区がある。 ・特殊詐欺や悪徳商法などを警戒し、訪問者が名乗らないと返事がなかったり、日中でも鍵を閉めて過ごしていたりとすぐに出でこない。電話も出ない状況である。 ・マスクしていると誰だかわからないので警戒された。 ・コロナ禍により、交流や行事等ができなくなっていることからつながりが希薄化している。障がい者との交流は特に顕著である。</p> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p>・見守り訪問活動を実施し、地域の状況の課題を知ることができた。 ・地区社協の役員と民生委員が分担して見守り訪問活動をし、世帯の状況を知るよい機会となった。 ・集まったの交流も大事だが、米寿など対象を決めて訪問し、実態把握することの大切さを確認できた。</p>	<p>・コロナ禍で敬老会を開催できない場合は、訪問活動への切り替えしていく。 ・敬老会は75歳から対象となるが、元気な方も多く、何をやりたいかなど、企画の中心となってもらう方法を検討。 ・今年度と同様に、88歳の米寿の方を対象として、見守り訪問活動を実施する。 ・訪問するのは社協役員と民生委員だけでなく、自治会も巻き込んでいく。 ・事前に訪問活動があることについて、回覧板や地区内の放送で周知する。 ・支え合いのしくみづくりについては、自治会や老人クラブからも協力いただき、味方地区にあったシステムを作っていく。</p>

新たな課題や取り組み(あれば記入)

取り組みの様子(写真)



アクションプラン打合せ



高齢者見守り活動打合せ



高齢者見守り事業の説明



高齢者見守り事業配布準備

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月12日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	A
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	B

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者> 敬称略</p> <p> コミ協 : 高橋会長、山崎事務局長 地区社協 : 堤会長、山田事務局長 AP 推進員 : 仲山 区社協 : 荏原、横山 </p> <p style="text-align: right;">7名</p>	
---	--

第3期南区アクションプラン地区別計画評価表<2021~2026>

【令和3年度 月瀉地区】

取り組み(実績)	課 題	次年度への引き継ぎ
<ul style="list-style-type: none"> ・月瀉地区アクションプラン打合せ、民協説明 6/18、6/24、7/6、7/20(AP 全体) ・月瀉地区民協でアクションプランについての説明 9/21 ・月瀉小学校・中学校、公民館、保健会の会議でアクションプランについて説明(逐次実施) ・月瀉地区自主防災会防災出前講座 10/31(支え合い) ・月瀉地区社協「福祉と健康の集い」11/20 ・月瀉地区社協「安心箱配布事業」12/20 ・その他 小学校との連携、在宅訪問活動等 	<p>・アクションプランについて、協力体制を含めて伝えていく必要がある。</p> <p>・コロナ禍ということもあり実施できない事業や、中身を深めることができない事業もあり、地域課題をまとめることができなかった。</p> <p>・地域の人が参画・参加できる機会を作る必要がある。</p> <p>・子どものつながりを通して、親同士の交流はあるが、それ以外の地域のつながりが希薄である。</p> <p>・地域の役員を探すのが大変である。</p> <hr/> <p style="text-align: center;">評 価</p> <p>・推進員の活動により、月瀉地区別計画の1年目の活動について道筋を立て、会議や勉強会などあらゆる機会でも知することができた。(AP 推進員の役割が大きかった。)</p> <p>・実施できた事業はコロナ禍でも参加者も多く、各団体等と顔のつながりができた。</p> <p>・福祉と健康の集いは保健会と共催であるが、月瀉地区の活動について保健会の発表を取り入れるなど工夫ができた。</p> <p>・安心箱配布事業では、配布物の袋詰め作業を地域のボランティアグループと一緒に取り組めた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランは引き続き周知をし、協力し合って進めていく。 ・小学校や中学校、地域で連携を深めていく。(コミュニティスクールとの連携) ・小学校と中学校の連携を推進するため、地域教育コーディネーターとの連携を図り、認知症サポーター養成講座や福祉体験なども提案していく。 ・防災研修は次年度以降継続して実施。 ・他地区との交流・情報交換会を実施。 ・区社協と連携し、地域の活動を検討、推進。

新たな課題や取り組み(あれば記入)

学校がコミュニティスクールに参画するにあたりアクションプランの活動も取り入れてもらえるよう、声掛けをしていく。

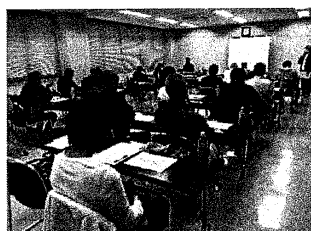
取り組みの様子(写真)



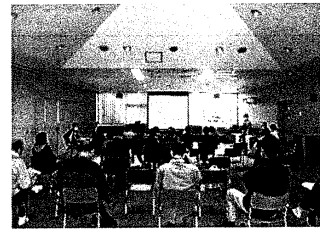
アクションプラン打合せ



民協定例会説明



防災出前講座



福祉と健康の集い



安心箱配布準備

【地区別計画取り組みにあたっての評価事項】

<確認日:令和 4年1月13日>

No.	評価項目	評価
1	住民参加のもとで、地区別計画に取り組みましたか。	A
2	地区別計画に取り組むにあたり、話し合う場を設けましたか。	A
3	関係機関や団体等と連携、協働しましたか。	A
4	取り組みで、地域住民や関係機関・団体等とつながりができたり、活動に広がりはありましたか。	B
5	取り組みに対して、成果があったと思いますか。(関心や理解を深められたか)	A
6	活動前や活動後において、地域住民や関係機関・団体に対し、周知は行いましたか。	A

評価	取り組みに対する評価(目安)
A	達成できている(90%以上)
B	一部達成できている(50%以上)
C	未達成 (50%未満)

<p><参加者> 敬称略</p> <p>コミ協 金子会長</p> <p>地区社協 田邊会長、角田副会長</p> <p>AP 推進員 泉田</p> <p>区社協 荏原、横山</p> <p style="text-align: right;">6名</p>
--